情報電子工学科 学会発表

【発表者について】○は発表者

内容 LabVIEWを用いた自律型ロボットを設計した。農作物を検知するセンサ類の活用方法や画像解析の事例を紹介し、安性のある農薬散布のロボットを提案している。特にイチゴ農家の多い栃木県での実際の導入が期待されている。		
プログラス で	学会名	第1回ロボット技術教育シンポジウム
1]帝京大学理工学部機械精密工学科1年 [2]帝京大学理工学部 密閉されたビニールハウス内での農薬散布による健康被害を防ぐために、マイコンにmyRIO、ハードにTETRIX、ソニ LabVIEWを用いた自律型ロボットを設計した。農作物を検知するセンサ類の活用方法や画像解析の事例を紹介し、安性のある農薬散布のロボットを提案している。特にイチゴ農家の多い栃木県での実際の導入が期待されている。	演題名	農薬散布ロボットの設計と開発
内容 LabVIEWを用いた自律型ロボットを設計した。農作物を検知するセンサ類の活用方法や画像解析の事例を紹介し、安性のある農薬散布のロボットを提案している。特にイチゴ農家の多い栃木県での実際の導入が期待されている。	発表者	
関連画像	内容	密閉されたビニールハウス内での農薬散布による健康被害を防ぐために、マイコンにmyRIO、ハードにTETRIX、ソフトにLabVIEWを用いた自律型ロボットを設計した。農作物を検知するセンサ類の活用方法や画像解析の事例を紹介し、安価で信頼性のある農薬散布のロボットを提案している。特にイチゴ農家の多い栃木県での実際の導入が期待されている。
農薬散布ロボット	関連画像	